

# 脳ドック オプション検査



VS-RAD ブイエスラド	MMSE ミニメンタルステート検査	MCI スクリーニング+
対象年齢：50歳以上  MRIデータを用いて、 記憶回路(海馬など)の 萎縮度を数値化する検査	世界各国で用いられる 認知機能検査方法  記憶・言語・見当識などの 機能を客観的に数値化	対象年齢：40歳以上  MCI(軽度認知障害)の 将来のリスクを評価 採血で実施  専用の結果用紙をお渡しします

A・Bコースで採血のオプションをご希望の方は、  
別途手技・採血提出料が追加(3,800円)

上記以外のオプション検査は、[こちら](#)をご確認ください。

## VS-RAD

ブイエスラド

¥ 7,500円

○対象年齢：50歳以上

○検査内容

記憶に関わる部位である海馬傍回(かいばぼうかい)・海馬・扁桃の萎縮度を検査  
これらの部位の萎縮度をからアルツハイマー型認知症の可能性を数値化します

○検査方法

頭部MRIの撮影時に同時に行うことができます  
造影剤等の使用がないので、痛みが無く行えます

○所要時間

MRIの撮影に加え、20～30分程度

# 脳ドック オプション検査



## MMSE

¥ 3,000円

### ○検査の概要

時間・場所の見当識、即時記憶、遅延再生、計算、言語能力、図形描写など11項目を短時間（10～15分）で評価するスクリーニング検査です

### ○点数と目安

満点は30点

一般的に27点～23点までは軽度認知症疑い

23点を下回ると認知症の疑いありに分類

### ○検査方法

医師や看護師が口頭で質問、患者様にやっていただく簡単な作業もあります

## MCI

### スクリーニング+

¥ 22,000円

### MCIスクリーニング+報告書サンプル

### ○MCIスクリーニング+検査に適しているご年齢：40歳以上の方

認知症発症の約20年前からアミロイドβの蓄積が始まると言われています。

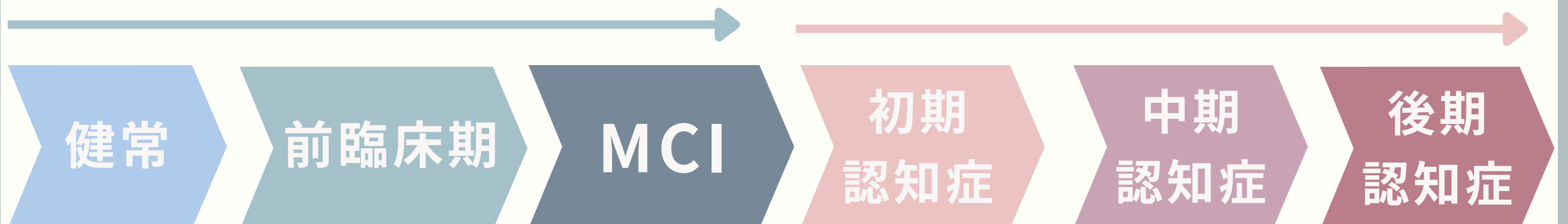
アミロイドβの蓄積は、加齢・生活習慣が関与しています。

認知症予防には、自覚症状がない早い段階での検査・生活習慣改善が有効です。

※アミロイドβ：認知症の原因の1つ

### MCIスクリーニング+

### 認知機能検査



予防が有効・推奨される期間

医療ケアが必要な期間

